子育て家庭への応援メッセージ

かめやま ～お茶の間10選（実践）のススメ～

令和元年６月

亀山市社会教育委員会

亀 山 市 教 育 委 員 会

目次

1　はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

２　家庭教育支援の動向と子育て家庭にみられる課題

１）家庭教育支援における国・県・市の動向・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

2）子育て家庭にみえる現状と課題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

３　課題解決に向けた取組

1）取組に向けた検討について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

2）募集内容について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

4　かめやまお茶の間 10 選（実践）について ・・・・・・・・・・・・・・ 14

5　かめやまお茶の間 10 選（実践）のこれからの取組と流れについて ・ 29

6　応募作品一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

7　かめやまお茶の間 10 選（実践）策定経緯 ・・・・・・・・・・・・・・ 47

8　社会教育委員名簿 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

９　おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50

１　はじめに

“子に過ぎたる宝なし”ということわざの通り、子どもは、どんな宝よりも、優っています。そして、子どもの健やかな成長は、保護者をはじめ、家族や地域、社会全体の願いでもあります。

ところが、児童虐待の増加や子どもの生活習慣の乱れ、いじめ問題などの行動が深刻化しています。こうした背景として、核家族化や少子化、地域における地縁的なつながりの希薄化等により、親の間に、子育ての負担感や子どもの教育の仕方が分からないといった育児に関する悩みなどが広がっていることが指摘されており、市内の状況も例外ではないと認識しています。

自分で生計を立て自立するまでに至らない子どもや青年は、親はもちろん、家族や周りの大人に頼らざるを得ません。そこで、頼られる大人が、一人でも多く子育てに関する正しい認識を持っていただけないか、と考え、昨年、家庭教育について審議していただく機会のある社会教育委員会に、その検討を依頼させていただきました。

私自身、『子どもが育つ魔法の言葉』という書籍が子育てのバイブルになるのでは、と受け止めた経験から、子育て家庭への応援メッセージを届けることができたらと考えていました。

このたび、❝かめやま お茶の間１０選（実践）❞を策定していただいたことに、深く感謝申し上げます。市内の子育てに関わる全ての方々のバイブルになることを期待しています。

- 不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
- 「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
- 子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
- 叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
- 励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
- 広い心で接すれば、キレる子にはならない
- 誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
- 愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
- 認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる

『子どもが育つ魔法の言葉』ドロシー・ロー・ノルト、レイチャル・ハリス著より

令和元年６月　　亀山市教育委員会　教育長　服部　裕

２　家庭教育支援の動向と子育て家庭にみられる課題

１）　家庭教育支援における国・県・市の動向

平成 30 年３月には、中央教育審議会の「第３期教育振興基本計画について（答申）」が公表されました。その中では、人生 100 年時代の到来が予想され、子どもたちが将来生きる社会は、今以上に、激動の時代となることが謳われています。その激動の時代を豊かに生き、未来を開拓していくためにも、だれもが人間ならではの感性や創造性を発揮し、自らの「可能性」を最大化していくこと、そして誰もが身に付けた力を生かして、それぞれの夢に向かって志を立てて頑張ることができるよう、「チャンス」を最大化していくことも求めています。

答申で示された基本的な方針は５つから構成されていますが、その１つ目に、「夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する」と示されており、下位目標として、「豊かな心の育成」や「家庭・地域の教育力の向上、学校との連携・協働の推進」等が掲げられています。

一方、三重県においては、平成 23 年４月に制定された「三重県子ども条例」において、その基本理念を次のように定めています。

- ○　子どもを権利の主体として尊重すること
- ○　子どもの最善の利益を尊重すること
- ○　子どもの力を信頼すること

この基本理念に則り、県の責務や市町・保護者・学校関係者等の役割が明らかにされています。

また、平成 28 年３月に策定された「三重県教育施策大綱」においては、基本方針①に、「生き抜いていく力の育成」を掲げ、子どもたちの夢と志を実現できるよう、「自立」「共生」する力を育むこととし、教育施策①を、「教育の原点」である家庭教育の充実と子育て支援としています。

さらに、平成 29 年３月には、「みえ家庭教育応援プラン」がまとめられ、家庭教育の在り方についての基本方針を示すとともに、今後家庭教育の充実に向けて講じることが望ましい取組方策を示しています。このプランでは、多様な主体への期待が述べられており、家庭への期待としては、次の３点を挙げています。

- ○　「心の拠り所」「教育の原点」として、子どもを温かく育むこと
- ○　子どもの成長を見据えた基本的な生活習慣づくり
- ○　学校等との連携を深め、教育効果を高め合うこと

そして、市町の役割としては、「住民に最も近い自治体としての、地域の実情に応じた、家庭に寄り添う家庭教育応援施策の立案と実施」としています。

このように国・県では、地域、学校、企業、行政などが横断的に結びつき、活動を広げ、社会全体を通して、子育て家庭を支えることを目指し、家庭教育を応援する取組を積極的に推進しています。

本市においては、平成 20 年度、当時の社会教育委員会が家庭教育の課題を洗い出し、今後強化すべき施策等をまとめた「親の教育の新たなメニュー」に沿って、取組が展開されてきました。それは、オール市役所での取組を充実しつつ、教育委員会としましては、公民館講座における子育て編の充実を図るとともに、学校等における「家庭教育力向上事業（出前講演）」や家庭教育充実に向けた啓発リーフレットの発行・配布等に取り組んできました。

また、青少年の健全育成に関わる団体や亀山市ＰＴＡ連合会等のご理解、ご支援をいただきながら、子どもたちの直接体験の場の提供と充実にも取り組んでいます。

平成 25 年度からは、「子育て学習展開事業」と称し、対象を保育所・幼稚園や認定こども園にも拡大し、基本的生活習慣の定着や自己肯定感の向上、読書習慣の確立を柱に、子育て家庭の保護者向け講座も開催しています。

《近年発行済みの啓発リーフレット》

※ 子育てマイブック
※ 家庭約束手帳
※ 朝ごはんバランスシート
※ パパ・ママ読んで！（7 種）
※ 家族交換日記
※ 食育レシピ集

また、平成 29 年３月には、「亀山市教育大綱」を策定し、子どもの育ちを支える学びの展開について、その基本方針にも位置づけました。さらに、

同時期に改訂した「亀山市生涯学習計画」では、地域全体で子どもを育む環境づくりを進めるとともに、家庭・地域における子育てに関する学びを一体的に展開するよう、「子育てを楽しみ、子育てを支える「学び」」として、家庭教育の充実を強調しています（市広報誌にて教育通信を連載）。

一方、亀山市青少年育成市民会議からの提言（平成 20 年）を受け、現在では、市民総ぐるみで展開されている「『亀山っ子』市民宣言」については、令和元年、「第三次具現化行動計画」が策定され、より一層の実効的な展開を目指しています。

また、健康福祉部では、「亀山市次世代育成支援行動計画　子育ち応援プラン」（平成 17～26 年度）に続き、「亀山市子ども・子育て支援事業計画」を策定（平成 27 年度）し、「質の高い教育・保育の総合的な提供」、「保育の量的拡大・確保」、「地域の子ども・子育て支援の充実」を目指した施策の方向等を定めています。特に、支援を要するお子さんを持つ家庭に対しては、「途切れのない支援」として、県下トップクラスの体制が整えられています。

さらに、各地域では、子どもたちの安全を見守る取組も広がりを見せ、各自治会やまちづくり協議会を中心とした子どもたちの活動の場も増えてきています。加えて、地域住民の方や保護者の方が学校運営に関わるコミュニティ・スクールも、市内半数以上の学校で立ちあがってきています。

それに伴い、各学校はＰＴＡと協力しながら、親子活動を積極的に取り入れている状況も見られます。

市民の間では、積極的に子どもたちの健全な育ちを応援するための、ボランティア団体やＮＰＯ法人が立ち上がっている状況もあります。

2）子育て家庭にみえる現状と課題

このような取組を展開し、子どもたちや子育て中の保護者が、学習や体験、相談する場は広がり、それら参加者の感想では、およそ８割以上から肯定的評価をいただいています。

しかしながら、こういった催しや活動、相談の場に参加していただく家庭は、まだまだ限られており、参加しない、参加しにくい、参加できない家庭があることが課題です。

また、平成 30 年度、市内保護者を対象として行われた「子育てに関して日常悩んでいること、または気になることは、どのようなことですか。」というアンケート調査（健康福祉部）を実施しました。対象は、就学前のお子さんを持つ保護者と、小学生のお子さんを持つ保護者です。

そのアンケート結果からは、次のような課題が浮かび上がってきます。

「子どもの発育・発達に関すること」、「子どもの教育全般」、「叱りすぎているような気がする」、「食生活や栄養」、「子どもの友だちづきあいに関すること」などの、特に、子どもの健全な発達や、子どもとの接し方・コミュニケーション、家庭での教育方針に関して、悩んだり、不安を抱いていたりする家庭が多いことが分かりました。

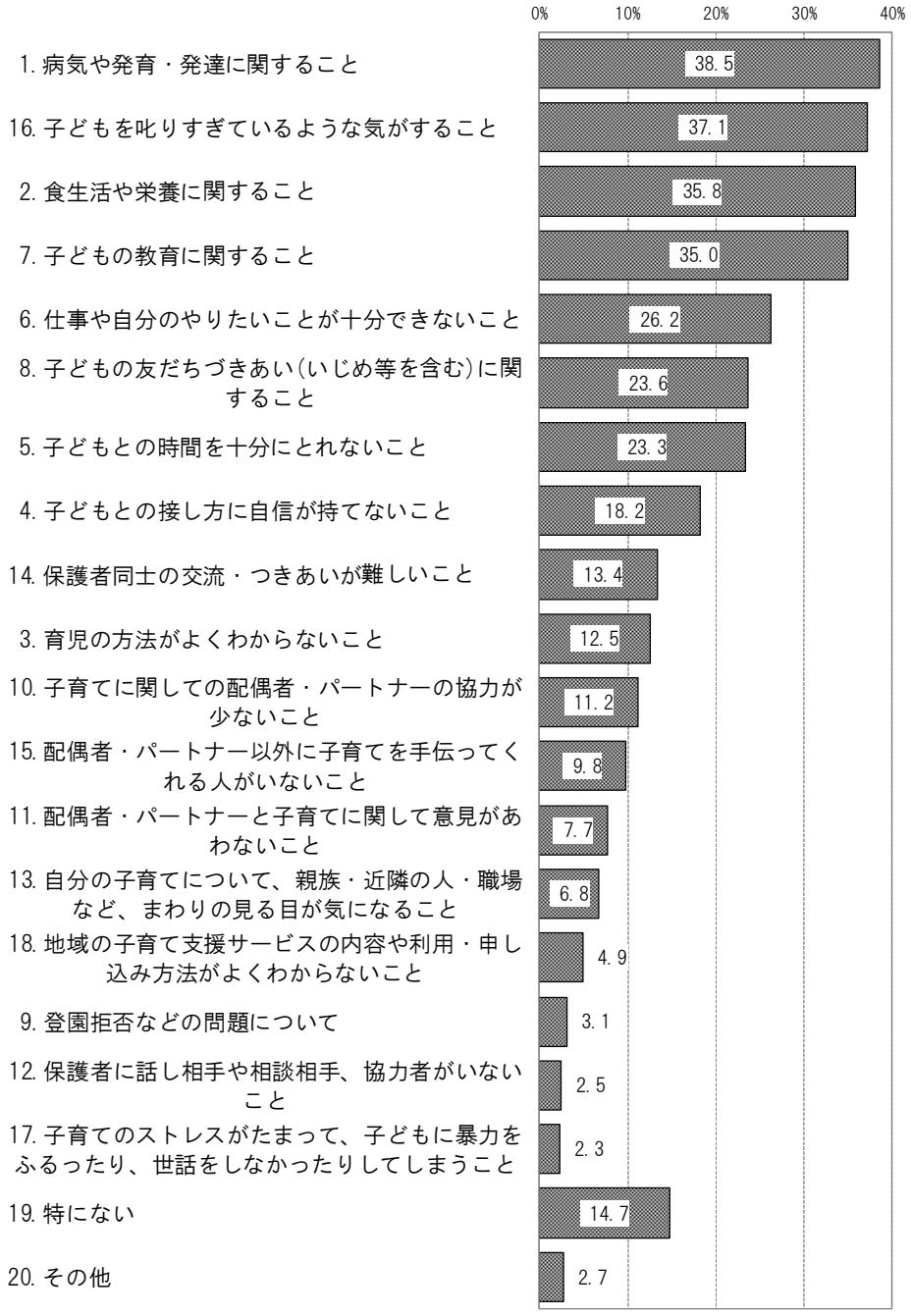
近年では、核家族化により、親が身近な人から子育てを学ぶ機会が減少し、また地域とのつながりが希薄化するなど、家庭教育を支える環境が大きく変化してきています。

さらに、携帯電話・スマートフォン利用の低年齢化やテレビ・ゲーム等への依存、少子化の進行や共働き家庭の増加現象、経済的問題など、家庭と子どもの育ちをめぐる問題は、一層複雑化、かつ深刻化している状況です。

あるいは、保護者が自分のことで精いっぱいで、地域住民や周りの大人たちとつながりが持てない、ＳＯＳが出せない状況も考えられます。

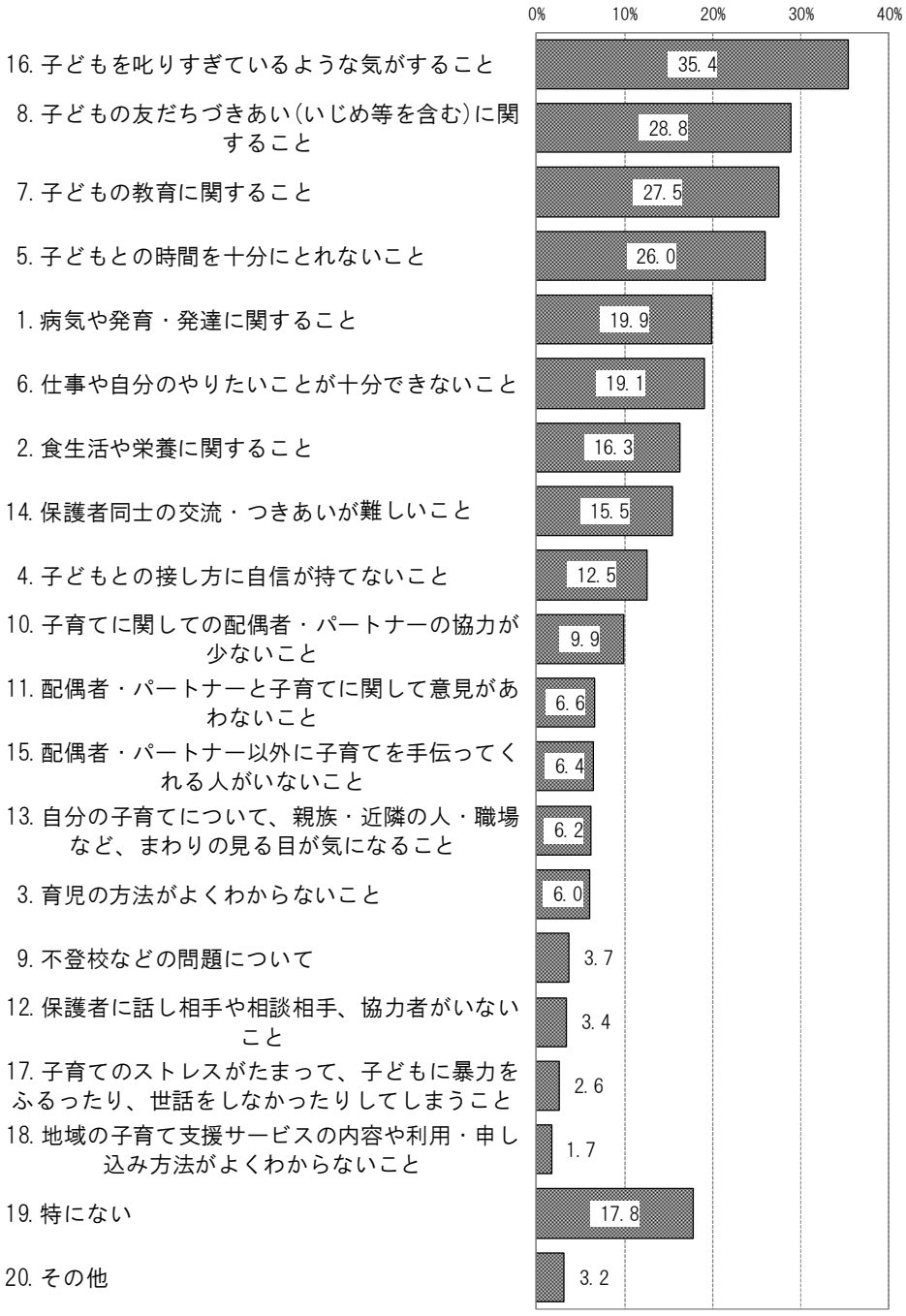
【就学前のお子さんを持つ保護者（市内有効回答数 1139 名)】

子育てに関して悩んでいることや気になることについては、「病気や発育・発達に関すること」が 38.5%と最も高く、次いで、「子どもを叱りすぎているような気がすること」（37.1%）、「食生活や栄養に関すること」（35.8%）、「子どもの教育に関すること」（35.0%）と続いています。健康・栄養面での悩みや、しつけ・教育面での悩みなどが上位にあがっています。「特にない」は 14.7%となっています。



【小学生のお子さんを持つ保護者（市内有効回答数 534 名）】

子育てに関して悩んでいることや気になることについては、「子どもを叱りすぎているような気がすること」が 35.4%と最も高く、次いで、「子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」（28.8%）、「子どもの教育に関すること」（27.5%）と続いています。しつけ・教育面での悩みなどが上位に挙がっています。「特にない」は 17.8%となっています。



３　課題解決に向けた取組

１）　取組に向けた検討について

このような家庭を取り巻く状況や課題から、社会教育委員会では、限られた家族の時間を有効活用して子どもとのつながりをさらに深め、家族でのコミュニケーションをより深めてもらうために、「何か少しでも子育て家庭の不安や負担を軽減できることはないのか」、「子育て家庭を応援支援できることはないのか」についての検討を行いました。

その結果、子育て家庭はもちろん、行政、関係団体、地域、学校・園等が、子育てに関しての「共通認識」を持ち、周りの大人が子育て家庭を応援・支援していくことが必要ではないかと考えました。

さらに、改正教育基本法（平成 18 年）においては、保護者の、子どもの教育に対する第一義的責任が明示され、「生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和の取れた発達を図るよう努めるものとする。」とされ、地方公共団体の努力義務としては、「家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。」と示されています。

子どもの豊かな成長は、保護者をはじめ、家族や地域、社会全体の願いであり、家庭は、子どもの健やかな育ちの基盤として、子どもの人格を形成するうえで重要な役割を担っています。

そこで、市内の子育て関係者の方々に、子育て家庭のための共通認識となるような、子育て応援メッセージを創り、発信していく必要性を、改めて認識しました。

まずは、子どものしつけや教育に関して、亀山市内の子育て中の方や子どもたち等に、「家庭において大切にしていること」や「こんな家庭にしていきたいと思うこと」を公募の形で意見集約しました。また、高校生を対象に、「将来こんな家庭を築きたいと思うこと」も募集し、子育て応援メッセージの検討資料とさせていただきました。

2）募集内容について

「家庭で大切にしたいこと」、「こんな家庭にしていきたい」という思いを公募するにあたって、亀山市の家庭で実践していってほしいことにつながるものとして、「かめやまお茶の間 10 選（実践）」という形でまとめることを想定して、次のような内容で募集しました。

①募集の対象

○一般市民（亀山市内の在住・在勤・在学を含む）
○市内全小学校３年生・６年生の児童とその保護者
○市内全中学校２年生の生徒とその保護者
○市内幼・保・認定子ども園の年長組の保護者
○市内高等学校２年生の生徒

②募集方法

○一般市民に向けて、市広報かめやま、亀山市ホームページで募集。
○校長会、保育・認定子ども園長会、幼稚園長会を通じて依頼。

③募集期間

第一次募集期間：平成 30 年９月14 日（金）～9 月 28 日（金）
（保育所、幼稚園、認定こども園、小・中学校、市内高等学校募集）
第二次募集期間：平成 30 年 10 月１日（月）～10 月 15 日（月）
（一般募集）

④募集結果

・応募総数：773 件
○一般市民（亀山市内の在住・在勤・在学を含む）：98 作品
○市内全小学校３年生・６年生の児童とその保護者：209 作品
○市内全中学校２年生の生徒とその保護者：12 作品
○市内幼・保・認定子ども園の年長組の保護者： 69 作品
○市内高等学校２年生の生徒：385 作品

（一般）

『かめやまお茶の間 10 選（実践）』を大募集！！

亀山市社会教育委員会では、現在、子育て家庭のあり方について議論を行っています。
そこで、「こんな家庭であれば良いな・楽しいな」と思うことを、短い文（15文字程度）で募集いたします。

― 募集要項 ―

＊下記の応募用紙にお書き下さい。
＊応募対象：亀山市に在住・在勤・在学されている方
＊応募方法：下記へ別添の応募用紙を持参・郵送または、メールにて募集します。
住所：〒519-0195
亀山市本丸町 577 番地
亀山市教育委員会事務局生涯学習課　行
メールアドレス：syougaku@city.kameyama.mie.jp

＊**応募締切：10月15日（月）**
＊その他：作品は、お返しいたしません。
ご応募いただいた作品を、
市のホームページ・広報等に使用すること
にご了承ください。

【お問い合わせ】　亀山市教育委員会事務局生涯学習課（0595）84−5057

きりとり

たくさんの ご応募
お待ちしてま～す！！

《 応募用紙 》

この中へお書きください。幾つお書きいただいても結構です。

例１　『お茶の間は　今日あったことの　発表会』

①「　　」

②「　　」

③「　　」

④「　　」

⑤「　　」

○ご記入いただいた方のお名前をお書きください。

お名前（　　）　年齢（　　）

亀山市に（　在住　・　在勤　・　在学　）

いっぱい書いてね！

（高校生）

『かめやまお茶の間 10 選（実践）』を大募集！！

亀山市社会教育委員会では、現在、家庭のあり方について議論を行い、それらをまとめた提言書（仮称）を作成する予定です。

そこで、家庭についての想いをやがては家庭を築いていくこととなる若いみなさんからお聞きしたいと考えています。

みなさんの若い感性で、「こんな家庭であれば良いな」、「将来こんな家庭を築きたいな」と思うことを、短い文（１５文字程度）で表わしてください。

＊その他：作品はお返しいたしません。ご提出いただいた作品を、市のホームページ・広報等に使用することにご了承ください。

【お問い合わせ】　亀山市教育委員会事務局生涯学習課（０５９５）８４－５０５７

きりとり

《 応募用紙 》

この中へお書きください。幾つお書きいただいても結構です。

例１　『お茶の間は　今日あったことの　発表会』

例２　『家族の笑顔と元気が、子どもの生きるエネルギー』

①＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」

②＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」

③＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」

④＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」

○下記必要事項をご記入ください。

亀山高等学校　（　　）年（　　）組（　　）席

氏名（　　）

この作品を作るにあたって工夫した点等がありましたら、ご記入ください。

［　　］

子育て家庭用配布分（～中学生までの子どもを持つ保護者）

「『かめやまお茶の間10選（実践）』を大募集！！

亀山市社会教育委員会では、現在、子育て家庭のあり方について議論を行っています。
そこで、実際の子育て家庭の皆様に、「こんな家庭であれば良いな・楽しいな」と思うことを、短い文（15文字程度）で募集いたします。

― 募集要項 ―

＊下記の応募用紙にお書き下さい。
＊応募対象：小・中学生・園児、とその保護者。
＊提出場所：自分の通っている学校、幼稚園、保育所、認定子ども園の担任の先生に渡してください。
＊応募しめきり：9月28日（金）
＊その他：作品はお返しいたしません。
ご応募いただいた作品を、市のホームページ・広報等に使用することにご了承ください。

【お問い合わせ】　亀山市教育委員会事務局生涯学習課（0595）84−5057

たくさんの ご応募 お待ちしてま～す！！

きりとり

《 応募用紙 》 この中へお書きください。幾つお書きいただいても結構です。

例１　『お茶の間は　今日あったことの　発表会』

①「　　」
②「　　」
③「　　」
④「　　」

○下記必要事項をご記入下さい。

お名前（　　）学年（　　）

学校・幼稚園・保育所・認定子ども園名（　　）

保護者のサイン（　　）（※保護者が確認したら、保護者のサイン欄にご記入をお願いします。幼稚園・保育所・認定子ども園は学年欄の記入は不要です。）

４　かめやまお茶の間 10 選（実践）について

子どもたちは、生活リズムや社会のルールなど、人としてのあり方を「お茶の間」から学んでいきます。

子どもにとって各ご家庭の居場所の核となる「お茶の間」（リビング）は、心のよりどころです。人生のスタートであると同時に、迷ったときに戻れる場であり、何かに気づける場でもあります。そんな「お茶の間」で、家族みんなで一緒に実践してもらいたいことをまとめた応援メッセージ、「**かめやまお茶の間 10 選（実践）**」を作成いたしました。

この 10 選は、みなさまから頂いた作品を、社会教育委員会にて 10 の実践テーマに分けてまとめたものであり、「実践（じっせん）」と「10選（じっせん）」をかけて、命名いたしました。

10 の実践テーマについては、次のように整理しました。

《実践テーマ一覧》

あいさつ	体験・遊び	夢	だんらん	約束
読書	食事	生活習慣	命	感謝

«かめやまお茶の間 10 選（実践）»

〈その 1〉 あいさつ	あいさつは家族をつなぐ　愛言葉
《応募作品より》 ・おかえりが聞こえるだけで安心感 ・つたえよう　いただきますとありがとう ・いってきます　今日も元気に　ハイタッチ	

〈その 2〉 体験・遊び	豊かな体験　豊かな心　家族で経験
《応募作品より》 ・遊びは親子の心を　かよわせる ・「友だち」と「遊び」に勝る学びなし　得られる喜び無限大 ・小さい時にたくさんの体験をする事が大切！	

〈その 3〉 夢	夢への一歩　家族の力
《応募作品より》 ・聞こう　子どものゆめ　話そう　親の夢 ・夢に向かって努力する　その姿こそが美しい ・誉めて伸ばそうやる気と意欲	

〈その 4〉 だんらん	テレビオフ　会話はオンで　一家だんらん
《応募作品より》 ・家ぞくは、いつでもおうえんだん ・夕食は　今日の出来事　発表会 ・言いすぎず　しっかり言える　関係性	

〈その 5〉 約束	つくって守ろう　家族のきまり
《応募作品より》 ・ケータイを　いじってないで　おはなししよう ・夕食は　テレビは消して　みんな笑顔 ・約束は　みんなが決めて　守るもの	

〈その 6〉 読書	本開く　こころを紡(つむ)ぐ　この出会い
《応募作品より》 ・減るページ　君の心に 増える思い ・一日の　どこかで毎日　手に本を　未だ見ぬ世界が拡がるよ ・おやすみ前のどくしょ会	

〈その 7〉 食事	しっかり食べて　つくろうカラダ
《応募作品より》 ・一食に　赤黄緑の　栄養素そろえよう ・好き嫌いは　人間関係の狭さに ・作り手の　想いを食べる　お弁当	

〈その８〉 生活習慣	家族でつくろう　ハッピーリズム
《応募作品より》 ・早寝早起き朝ごはん朝うんち　みんな元気 ・家族でつくろう生活リズム　笑いと幸せ奏（かな）でます ・朝食の匂いがみんなのアラーム	

〈その９〉 命	支えあう家族　尊い家族
《応募作品より》 ・毎日の　キミの笑顔で　生きている ・お茶の間で　見せたサイン、見つけてね ・無事ねがう　行ってきます　と孫の声	

〈その 10〉 感謝	お茶の間で　伝えよう　感謝の気持ち
《応募作品より》 ・ありがとう　感謝の気持ち　伝えよう	

かめやま お茶の間10選（実践）

あいさつは 家族をつなぐ愛言葉

おかえりが聞こえるだけで安心感

つたえよう いただきますとありがとう

いってきます 今日も元気に ハイタッチ

つくって守ろう 家族のきまり

ケータイを いじってないで おはなししよう

夕食は テレビは消して みんな笑顔

約束は みんなが決めて 守るもの

お茶の間で 伝えよう 感謝の気持ち

ありがとう 感謝の気持ち 伝えよう

家族でつくろう ハッピーリズム

早寝早起き朝ごはん朝うんち みんな元気

家族でつくろう生活リズム 笑いと幸せ奏でます

朝食の匂いがみんなのアラーム

支えあう家族 尊い家族

毎日の キミの笑顔で 生きている

お茶の間で 見せたサイン、見つけてね

無事ねがう 行ってきます と孫の声

豊かな体験 豊かな心 家族で経験

遊びは親子の心を かよわせる

「友だち」と「遊び」に勝る学びなし
得られる喜び無限大

小さい時にたくさんの
体験をする事が大切！

夢への一歩 家族の力

聞こう 子どものゆめ 話そう 親の夢

夢に向かって努力する
その姿こそが美しい

誉めて伸ばそうやる気と意欲

テレビオフ 会話はオンで 一家だんらん

家ぞくは、いつでもおうえんだん

夕食は 今日の出来事 発表会

言いすぎず しっかり言える 関係性

本開く こころを紡ぐ この出会い

減るページ 君の心に 増える思い

一日の どこかで毎日 手に本を
未だ見ぬ世界が拡がるよ

おやすみ前のどくしょ会

しっかり食べて つくろうカラダ

一食に 赤黄緑の 栄養素そろえよう

好き嫌いは 人間関係の狭さに

作り手の 想いを食べる お弁当

ご家庭の目立つところに貼りましょう

亀山市社会教育委員会・亀山市教育委員会

かめやまお茶の間10選(実践)のススメ

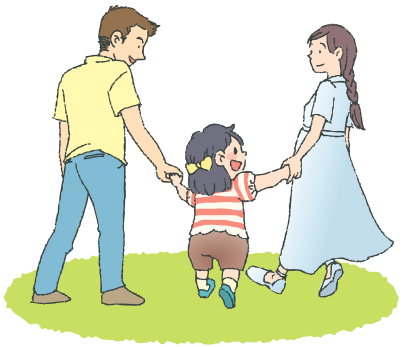
はじめに

子育てにこれが正解！というものはありません。子どもたちが「幸せに！」「健やかに！」「のびのびと！」育ってほしいという願いは誰もが持っています。家族みんなが、家庭で幸せを感じ笑顔で接することで、子どもは安らぎを感じます。

各ご家庭の居場所の核となる、「**お茶の間**」（リビング）という心の居場所がとても大切です。

子どもたちは、生活リズムや社会のルールなど、人としてのあり方を「**お茶の間**」から学んでいきます。

子どもにとって「**お茶の間**」は、心のよりどころです。人生のスタートであると同時に、迷ったときに戻れる場であり、何かに気づける場でもあります。そんな「**お茶の間**」で、家族みんなで一緒に実践してもらいたいことをまとめた応援メッセージが、かめやまお茶の間 10 選（実践）です。



おねがい

「かめやまお茶の間 10 選（実践）」は、あくまでも一つの応援メッセージです。ご覧いただいた際に、「これは大切にしたいな～」と思うものがあれば、ご家庭で実践し家族の時間をより大切にしていただけたら良いなと思います。

かめやまお茶の間10選（実践）って？

「ご家庭で大切にしたいと思っていることは何ですか？」

亀山市内の子育て中の方や学生、子どもたち等に短文形式で作品募集を行いました。

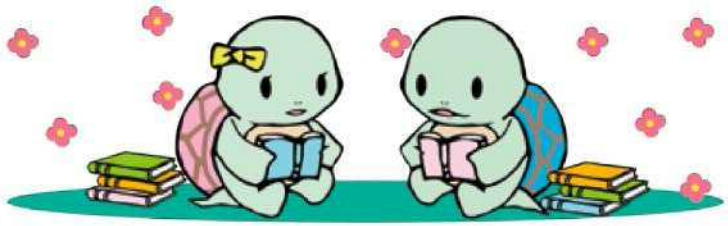
募集の結果、市内の皆さまから、およそ 800 点の作品を頂くことができました。

それら作品の多くは、家族のだんらんに関する内容でした。

社会教育委員会では、それらを 10 のテーマにわけてまとめました。「あいさつ」・「食事」・「読書」などの 10 選を、

●家族で一緒に！　　●子どもたちと楽しく！

日ごろから、実践していただくことが大切です。



お問い合わせ先
亀山市教育委員会事務局 生涯学習課 社会教育グループ
亀山市本丸町 577 番地　TEL 0595-84-5057　FAX 0595-82-6161

かめやまお茶の間10選（実践）　その1

あいさつは家族をつなぐ愛言葉

「あいさつができている」と思っている市内の小・中学生は、９０％ほどいます。ところが、保護者に尋ねると８０％ほどに下がり、地域の方々に尋ねると、その割合は一段と下がってしまうという状況があります。

挨拶は万国共通のルールであり、世代を問わず社会生活の基本、人間生活の基本です。まずは、各家庭において、あいさつの習慣をつけていただくことが大切と考えます。

押し付けでなく、自然に家庭内で出てくる「おはよう」・「行ってきまーす」・「おかえり」・「おやすみ」・「元気？」がいいですよね。

あいさつは どうして大切なの？

◆ 出会った人が互いに心を開いて相手に近づいていく、という意味があります。まずは「わたしは あなたに心を開いているよー」ということです。

◆ 「あなたは 大切な人ですよ」と伝える最良の手段であり、お互いが、お互いのおかげで生きていることを自覚し合う、かけがえのない機会です。「わたしは あなたとつながっていますよー」ということです。

きっと知らず知らずのうちに、子どもたちの自己肯定感も育まれていくことでしょう。

こんにちは

こんな いいことあるよ

○ 自分や相手の緊張をほぐすことができます。
○ 相手によい印象を持たれ、人間関係がよくなります。
○ 相手との「会話のきっかけ」になります。

コミュニケーションのすばらしいきっかけになりますね。

応募作品より

・おかえりが聞こえるだけで安心感
・つたえよう　いただきますと　ありがとう
・いってきます　今日も元気に　ハイタッチ

かめやまお茶の間10選（実践）

その2

豊かな体験 豊かな心 家族で経験

「授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりした」ことのある市内の小学生は、年々増加傾向にあり、県平均を上回っているものの（平成３０年度）、地域社会などでのボランティア活動への参加や学校以外での地域の大人の方々との関わりは、年度によって大きな差が見られる状況です。

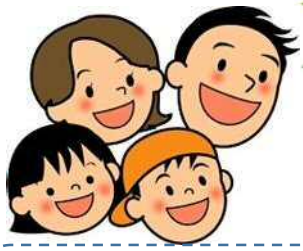
また、「間接体験」（インターネットやテレビ等を介した体験）や「疑似体験」（シュミレーションや模型等を通じた体験）の機会が圧倒的に多くなった今、子どもたちの成長にとって負の影響が懸念されています。そのような中、市内の各種団体が直接体験の場の提供に努めていただいているものの、参加する子育て家庭が限定される状況にあります。

各家庭において、自然や実社会に実際に触れる遊びや活動を子どもと一緒に体験していただくことが、子どもたちの健全な成長の糧になります。

時間や場所が限られている場合は、様々な直接体験の場に、積極的に子どもたちを参加させる意識が大事ですよね。

遊び・直接体験は どうして大切なの？

- 子どもたちは、具体的な体験や物事との関わりをよりどころとして、感動したり、驚いたりしながら、「なぜ・どうして」と考えを深める中で、実際の生活や社会、自然の在り方を学んでいきます。
- 遊びや直接体験から得た知識・考え方を基に、実生活の様々な課題に取り組むことを通じて、自らを高め、より良い生活を創り出していくことができるようになります。



こんな いいことあるよ

- ○ 「積極性」・「責任感」・「自然への関心」・「協調性」が育ちます。
- ○ 「意欲・関心」など「やる気」が高まります。
- ○ 「道徳観・正義感」が育ちます。

- ２歳までの体験は、親子の散歩でもOKです。
- ３～５歳は、どろんこ遊び、虫とり、水遊び、どんぐり拾い・・
- 小学生以上は、飼育栽培、ハイキング、キャンプ、山登り・・・

大人が、子どもと一緒に感動したり共感したり楽しみましょう♬

応募作品より

- 遊びは親子の心をかよわせる
- 「友だち」と「遊び」に勝る学びなし　得られる喜び無限大
- 小さい時にたくさんの体験をする事が　大切！

夢への一歩　家族の力

「将来の夢や目標を持っていますか？」という問いが、全国学力・学習状況調査の質問紙にあります。その問いに対して、市内小学６年生の約８割、中学３年生の約７割の子どもたちは「持っている」と回答しています（平成３０年度）。

小さな子どもが抱く「夢」とは何か・・・人は、産まれた直後からの親や身近な人との良好な応答関係によって、社会的存在としての人間の源（土台）を形作り、言葉の獲得と大人や周りの環境に素朴な興味や好奇心を抱くようになります。そして、社会（周囲）と人間に対する素朴な信頼を育むプロセスを経て、その信頼は、社会の人々の働きや機能（価値）に偏見のない感性で触れた感動体験を通して強められます。それが、「自分もあのようなことができる人間になりたい」という素朴なあこがれや夢を子どもの中にもたらします。

子どもの最初の「将来の夢」の誕生は、最初の将来に向けて社会に関わる意思の芽生えと言えるでしょう。

親や周りの大人が気を付けたいことは、小さな子どもの中に素朴に芽生えた夢に対して自分の価値観から否定したり、揶揄したりしないことです。まずは、無条件に受け止めましょう。そして、「その夢を実現させていくためにはどんな適性や能力が必要か、もっと本人に相応しいことが他にあるのではないか？」といったことは、子どもが自ら学習する中で感じ取り掴み取っていくような温かい支援こそが大切でしょう。

夢や希望を持つことは どうして大切なの？

◆「夢を持っている子＝よい子、持っていない子＝残念な子」ではありません。また、「将来、何になりたいか？」に着目しがちですが、大切なのは、子ども自身が自分の長所に気づき、あることに自信を持ち、将来に期待が持てる状態に育ってほしい！ということです。希望の芽を摘み取らないこと、意欲を尊重することが大事ですよね。何が学べたかにフォーカス！

こんな いいことあるよ

- ○　社会に対する関心や学びの意欲が高まります。
- ○　自分が進む方向への道標になり、「生き方」の方向性が見えてきます。
- ○　主体性が伸び、困難や失敗を乗り越え課題を達成しようという習性が身に付きます。
- ○　自分の適性を自ら発見し理解できるようになり、夢（目標）の再選択を可とします。

応募作品より

- 聞こう　子どものゆめ　話そう　親の夢
- 夢に向かって努力する　その姿こそが美しい
- 誉めて伸ばそう　やる気と意欲

かめやまお茶の間10選（実践）　その4

テレビオフ 会話はオンで 一家だんらん

家族団らん、一家団らんとは、家族が集まって仲良く楽しみ合うことです。

その内容は、「食事をする（外食含む）」、「話（談笑）をする」、「テレビを見る（会話をしながら）」、「お茶を飲む（おやつ・デザート含む）」など、様々です。

ところが、日本国内はもちろん、先進国でも、一家団らんの時間がどんどん少なくなってきていると言われています。市内のご家庭におきましても、「帰宅する時間がバラバラ」、「帰宅してもパソコンやスマートフォンを触っていたり、自室等で家族がバラバラに複数のテレビを見ていたり…」という状況がうかがえます。

首都圏の中学生の子どもを持つ母親を対象に行われた民間の調査によりますと、家族全員がそろった一家団らんの回数は、「週１回」もしくは「週２回」と回答した家庭が約６割で、その割合は増え続けており、だんらんの回数が減少してきているそうです。その内容は「食事をする（外食含む）」が１位ということです。これまでに、多くの研究結果から、特に子どもにとって、家族で食事をすることの重要性やその効果が証明されています。

その効果は、肥満や非行の確率が低い、言語能力の発達によい、キレてしまう子にならない、うつ病や大人になってから生活習慣病になりにくい、食事マナーが身に付く・・・と言われています。

家族団らん・一家団らんは どうして大切なの？

◆ 大切なのは、家族一緒にそろって何かをすることです。仲良く話したり、食事をしたり、テレビなどを見たり、・・・それが習慣化することにより、家族の絆が強くなり、お互いが信頼できる関係が固まっていきます。

こんな いいことあるよ

家族で、リラックスして話をしたり聞いてもらったりすること、食事の様子で体調の変化に気づくこと、笑顔で何かをすることによる子どもの心の安定などは、子どもの健全な育成に不可欠と言えるでしょう。

- ○ 多世代の複数の人との会話で、コミュニケーション力が向上します。
- ○ 子ども自身が、家族の中で認められているという認識につながり、「自尊心」や「自己肯定感」を生み出します。非行防止やキレる子にならないと言われています。
- ○ 家族と一緒に食事をすることで、肥満・偏食防止、体調管理に役立ちます。
- ○ 精神的、身体的な効果のみならず、物理的な節約につながります。

応募作品より

- 家ぞくは、いつでも　おうえんだん
- 夕食は　今日の出来事　発表会
- 言いすぎず　しっかり言える　関係性

かめやまお茶の間10選（実践）　その5

つくって守ろう　家族のきまり

家庭には、子どもに「社会性を身に付けさせる」という大切な役割があります。これは、社会の状況が変わっても、大切な役割であることに違いありません。
「家庭は一番小さな社会」という言葉がありますが、子どもたちは、家庭の中でルールを守ることを通して、人との関係の在り方や社会のルールの大切さを学んでいきます。

家族の決まりごと（ルール）には、あいさつ、家に帰る時刻、寝る時刻、きちんとした姿勢などの生活上のルールもあれば、他人に迷惑をかけない、うそをつかないなどといった道徳上のルールもあります。
しつけに一貫性を持たせ、しっかりと身に付けさせるためにも、子どもの意見も聞きながら家族みんなでよく相談して、具体的なルールを作り、それを家族みんなで守りましょう。

我が家の約束やルールは どうして大切なの？

- 子どもの言うことを何でも聞くことが、親の優しさではありません。子どもは、「我慢すること」の経験を通して、自分の気持ちを抑えることや、やたらとモノを欲しがることがなくなるようになっていきます。
- 帰宅時間や、テレビ・ゲーム・スマートフォンなどのルールは、子どもたちの健康な発達のみならず、危険から身を守ることに直結することでしょう。
- お手伝いは生きていく上での最低限必要な家事を学び、お小遣いは買い物、片づけは整理整頓など、子どもの成長に応じた自立心や責任感を育むことができますよ。

こんな いいことあるよ

- ○　社会の一員としての倫理観や規範意識を育みます。
- ○　基本的な生活習慣や生活能力が身に付いていきます。
- ○　人に対する思いやりや、「自立心・自制心・責任感」を育みます。
- ○　特に、スマートフォンなどのインターネットに関するルールは、危険から身を守るだけでなく、相手を傷つけてしまうことの防止につながります。

まず、これだけは身につけさせたい！と思うことから･･･

応募作品より

- ケータイを　いじってないで　おはなししよう
- 夕食は　テレビは消して　みんな笑顔
- 約束は　みんなが決めて　守るもの

かめやまお茶の間10選（実践）　その6

本開く こころを紡ぐ この出会い

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造性を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないものです[子どもの読書活動の推進に関する法律の基本理念]。

亀山市では、ブックスタート事業を展開し、乳幼児から本に親しむことを推奨しています。また、市内の小・中学校でも積極的に読書活動に取り組み、児童生徒の読書量は増えてきています。本を読む子を育てるには、小さな時から本に親しむことが大切であり、「いい本に出会うことは、いい人に出会うことに似ている」とも言われています。一番素敵な本は、お父さんやお母さんなど、愛情でつながっている人の声で読む本です。

親子のぬくもりを感じながら素敵な絵本に接し、一緒に共感し合うひとときは、子どもの感性や心を豊かにする貴重な時間になります。

親子読書（家読）は どうして大切なの？

- ◆ 小学校低学年くらいまでは、「読み聞かせ」により、子どもたちに読書の楽しさを伝えることができ、子どもの世界を広げてあげることができます。
- ◆ 小学校中学年以上になると、読み物の楽しさを味わい、科学や社会・趣味などへの興味を深めたりすることができます。
- ◆ 小学校高学年や中学生・高校生になると、伝記や歴史、小説、自然科学・・・とジャンルが広がっていきますが、子どもと一緒に図書館や書店に出向き、家族で感想を語り合うことをお勧めします。子どもは、読書が大好きになるでしょう。

こんな いいことあるよ

- ○　子どもの感性や豊かな心、想像力、知的好奇心を育みます。
- ○　感想を言葉にしたり、人に勧めたりすることで、コミュニケーション力や読解力・表現力を高めることにもつながります。

応募作品より

- ・減るページ　君の心に　増える思い
- ・一日のどこかで毎日　手に本を　未だ見ぬ世界が拡がるよ
- ・おやすみ前の　どくしょ会

かめやまお茶の間10選（実践）　その7

しっかり食べて　つくろうカラダ

市内で、朝食を食べてくる小学６年生は92％、中学3年生は84％（平成30年度）というデータがあります。

人は、一生の間に、食事を８万から10万回すると言われ、特に子どものときに食べる食事は、カラダを作る素となるものです。しかしながら、生活習慣が多様化している中、朝食を食べる習慣がなかったり、食事そのものを外食やコンビニ弁当などに頼ってしまったり、という状況も見られます。

乱れた食習慣や偏った食生活は、体内リズムが整わなかったり、栄養が偏ったりして、子どもの健全な成長に支障をきたします。肥満や糖尿病などの生活習慣病を引き起こす原因にもなってしまいます。

食べ物（栄養素）によっては、ストレス解消や疲労回復、心を癒すなど、おいしく頂く以外にも様々な長所があります。我が家の食事の「バランス」に気づき、栄養バランスの取れた食習慣や食生活を心がけてみてはいかがでしょう？

朝食や栄養バランスの取れた食事は　どうして大切なの？

- ◆ 脳のエネルギー源であるブドウ糖（主食）を朝食でしっかり補給することにより、脳と体が目覚め、朝から勉強や仕事に集中できます。
- ◆ あか（主菜）、き（主食）、みどり（副菜）、３つの仲間の食べ物を一緒に食べることにより、体と心が元気に成長できます。
- ◆ 我が家の食事の「バランス」を意識することにより、自然と栄養バランスが整っていきます。

こんな　いいことあるよ

- ○ 人間は、５歳未までに味覚を感じる器官がピークに達します。小学生や中学生のうちに様々な食材と出会い、食べることで、味覚を鍛えることで脳の発達にもつながります。
- ○ いろいろな食事を素材から作り、食べて味を覚えることによって、味覚が鍛えられ、苦手な食材にも興味をもてるようになります。

応募作品より

- ・一食に　赤黄緑の　栄養素そろえよう
- ・好き嫌いは　人間関係の狭さに
- ・作り手の　想いを食べる　お弁当

家族でつくろう　ハッピーリズム

人間には、昼には昼の、夜には夜の、それぞれに異なる動きをする体の仕組みがあります。体温のリズム、ホルモンのリズムなど、体のすべてのリズムがそれに基づいてプログラムされていて、その仕組みに合った生活をしないと、体や心をよりよく発達させることができなくなってしまいます。また、そのリズムに合わせて生活したときにこそ、人間はその能力を最も発揮できるようにつくられています。

24時間型社会になっても、人間本来の生活リズムを守ることが、特にこれから成長していく子どもにとって大切です。

市内の小・中学生が、「おおよそ同じ時刻に就寝している」と回答した割合は、小学６年生で８０％弱、中学３年生で７０％弱という結果（平成３０年度）でした。

現代は、スマートフォンなどの普及や習い事・学習塾・部活などによる忙しさで、生活リズムが乱れやすい環境にあります。特に、中学生、高校生の時期は、将来の社会的自立に向けた大切な時期です。日々の生活を客観的に見て、自己管理していくことが重要と言えます。

生活リズムは　どうして大切なの？

- ◆ 睡眠不足や不規則な生活が続くと、イライラ、だるい、集中できないなどの悪影響が生じます。
- ◆ 生活習慣の乱れによる心身の不調は、学力や運動能力の低下、不登校、ひきこもり、非行・犯罪などの問題行動につながるリスクが高まります。
- ◆ 朝食をとり、昼間に体を動かすことにより、１日の充実感につながり、便秘の予防にもなります。「早寝早起き・朝ごはん・朝うんち」が、人間の自律神経にとって望ましいようですね。

こんな　いいことあるよ

- ○ 生活習慣が整えば、便通を良くするとともに、肥満防止にも効果があるとも言われています。
- ○ １日の中で体温にもリズムがあります。昼間、活動的に生活することで、睡眠・ホルモン・体温のリズムが整ってきます。

応募作品より

- 早寝早起き朝ごはん朝うんち　みんな元気
- 家族でつくろう生活リズム　笑いと幸せ奏でます
- 朝食の匂いがみんなのアラーム

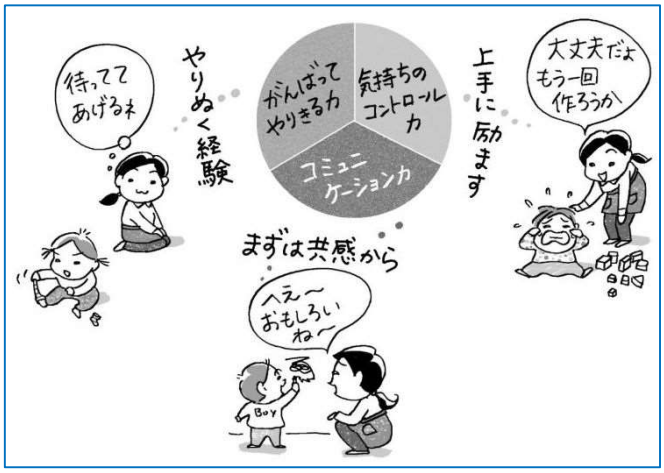
支えあう家族　尊い家族

自分を大切に思えるからこそ他の人も大切に思えるものです。そして、自分を愛するからこそ他の人にも思いやりを持てるものです。

市内においては、「自分には良いところがある」と答えた小学６年生は約８割、中学３年生は約７割（平成３０年度）であり、中学生の割合が全国平均より下がっている状況です。

また、三重県の子ども調査（平成 30 年:小学５年生、中学２年生、高校２年生）によりますと、自分のことが好きな子どもの割合は、小学生６９．３％、中学生５６．０％、高校生５３．６％という結果です。ここで注目したいこととしては、「自分の子どもが自分のことを好きだと思っている」と思う保護者は、小学生の保護者で９２．０％、中学生の保護者で８７．１％という結果の数字です。

子ども自身が自分を大切な存在であると信じることができる「自己肯定感」は、生きるエネルギーの原動力となるものです。



自己肯定感は、周りの大人が子どもの個性を理解し、“ありのまま”を大切にしてあげることから育まれます。

子どもが自他の命を大切にし、自分らしく いきいきと生きていくために、

- ■ 共感的に子どもと接すること
- ■ やりたいことをやり抜く体験を保障すること
- ■ 励ましや「なんとかなるよ」という楽観的な声かけをすること

と言われています。

命を大切にする、自己肯定感を育てることは どうして大切なの？

◆ 「ありのままを受け入れてくれる」という感覚は、他者への信頼感が増すとともに、「たとえ失敗してもいいんだ」という自分への信頼感につながります。そして、その感覚をベースに育った子は、コミュニケーション力や自己コントロール力、やりきる気持ちや力が育っていきます。

こんな いいことあるよ

○ 家族に悩みを打ち明けてくれることにもつながります。

○ 将来の夢や希望を持っている子どもが多い、と言われています。

応募作品より

- 毎日の　キミの笑顔で　生きている
- お茶の間で　見せたサイン、見つけてね
- 無事ねがう　行ってきます　と孫の声

かめやまお茶の間10選（実践）　その10

お茶の間で　伝えよう　感謝の気持ち

人それぞれですが、感謝の気持ちは誰にでもあるものです。それを言葉にする簡単な手段が「ありがとう」の挨拶と言えるのではないでしょうか。子どもが、「ありがとう」という言葉が自然と出るような気持ちを育むことは、「しつけ」の第一歩です。

自然や食べ物、そして家族をはじめとする周りの人たちの言動に感謝することは、その瞬間に感じた幸せを大切にすることであり、いま自分が生きていることに感謝の気持ちが芽生えてきます。

「子どもに感謝の心を育てたい」、「感謝の心を持てる大人に育ってほしい」という話を聞くことがありますが、だからといって、子どもに「感謝の心を持ちなさい」、「ありがとうと言いなさい」と押しつけても、子どもは心の底から感謝の気持ちを抱くことは難しいでしょう。

心から自然に湧き上がってくるのが感謝の心であり、日ごろから、周りの大人が感謝の姿勢を見せることが大切です。その姿を子どもは見ています。

家族がお互いに感謝の気持ちを伝え合い、また、当たり前にある生活に感謝しながら過ごすひとときは、親子にとってかけがえのない時間となるでしょう。

感謝の気持ちを伝えることは　どうして大切なの？

- ◆ 感謝の言葉は、相手に対しての謝辞だけではなく、相手との良好な人間関係を深めていくきっかけにもなります。また、ありがとうの一言だけで、心が和み、幸せな気持ちになります。
- ◆ 子どもは、家族や周りの人から感謝されたり、ありがとうと言ってもらったりするだけで、認められたような気持ちを持つことができ、子どもの自己肯定感も自然と育まれていくことでしょう。

こんな　いいことあるよ

- ○ 自分や相手にとっても、うれしい気持ちになれます。
- ○ また感謝されたい、次からも頑張ろうというような前向きな気持ちになれます。
- ○ “ありがとう”は、何度伝えてもOKです。相手とのコミュニケーションも一層深まります。

応募作品より

・ありがとう　感謝の気持ち　伝えよう

５　かめやまお茶の間 10 選（実践）のこれからの取組と流れについて

かめやまお茶の間 10 選（実践）をそれぞれの子育て家庭において日常的に意識していただき、少しずつでも実践していただきたいと考えています。

そのために、市教育委員会では、以下のような子育て家庭を対象にした取組を行っていきたいと考えています。

① かめやまお茶の間 10 選（実践）を、イラストなどを用いて分かりやすく表した印刷物を配布する。

② かめやまお茶の間 10 選（実践）をご家庭で、誰もが理解し実践できるように、広報・TV 等多様な媒体を用いて周知する。

③ かめやまお茶の間 10 選（実践）を、一過性のものとしないために持続的な取組を進める「かめやまお茶の間 10 選（実践）推進活動プラン」を策定する。

初年度となる令和元年度には、上記①～③を行います。

特に、子育て家庭が楽しく持続的に実践できるよう、行政だけではなく、地域や学校、関係団体など様々な主体が子育て家庭に向けて働きかけを行い、より実効性の高いものにしていく具体的な手法とスケジュールを示した、「かめやまお茶の間 10 選（実践）推進活動プラン」の策定と展開を進めていきます。

６　応募作品一覧

（※網掛けは、かめやまお茶の間 10 選（実践）掲載）

その１　あいさつは家族をつなぐ　愛言葉

１　家族みんなで「いただきます！」いい声一発元気出そう！
２　いってきます　毎日えがおで　ハイタッチ
３　ドアあける　おかえりの声　ほっとする
４　朝起きて、リビングに行き、あいさつをする。
５　お茶の間は　あいさつたえない　元気な家庭
６　えがおで「おかえり」つかれとぶ。
７　大切にしよう　家族のあいさつ
８　つたえよう　いただきますと　ありがとう
９　ただいま　おかえり　みんながえ顔で
10　ねる前のあいさつ「すきだから」
11　いってきます　今日も元気に　ハイタッチ
12　どんな時も　ありがとう　ごめんねが　言える　わが家でありたい。
13　怒っても　満面の笑み　ごめんなさい
14　寝る前と朝一番は元気に挨拶
15　あいさつは　相手の目を見て　大きな声で
16　あいさつするのがあたり前
17　お母さんの『おかえりなさい』回復薬
18　家族とのあいさつから始まる我が家の１日
19　朝のはじまりはおはようから
20　家族から　おはようといわれ　元気出す
21　おはよう　おやすみちゃんと言う
22　おかえりが疲れた私の心を癒す
23　「ただいま」必ず返ってくる「おかえり」
24　布団の中　明日が楽しみ　おやすみなさい
25　一人でも　帰ると必ず　ただいまを！
26　「ただいま」「おかえり」をあたりまえのように言える家庭
27　家族全員で元気よく「いただきます」
28　あいさつで今日も一日頑張ろう
29　挨拶が飛びかうような家族が良い
30　１日は、家族のいってらっしゃいから
31　家帰り　おかえり一言　ほっとする
32　おかえりは、家が暖かくなる合言葉
33　「いってらっしゃい」といつもの一言、今日も元気に「いってきます」
34　家族のおはようが１日のはじまり
35　おかえりが聞こえるだけで安心感
36　朝起きて家族おはよう力でる
37　ドア開けるおかえりの声ほっとする
38　伝えようございますとありがとう
39　挨拶は相手の目を見て大きな声で

その２　豊かな体験　豊かな心　家族で経験

1　いつもより　みんなと楽しく　あそびたい
2　休日にサッカーであそんでたのしいな
3　おもちゃで　親子が遊べる　楽しいお茶の間！
4　夏休み　親子で楽しむ　虫の世話
5　子どもと　一緒にたのしく　あそぶ
6　スポーツは　日々の努力が　つまってる
7　遊びは親子の心を　かよわせる
8　週末に　子どもとお出掛け　元気でる
9　土日は子どもと一緒に公園へ！！
10　小さい時にたくさんの体験をする事が大切！
11　子どもがしたい事には協力する！
12　「友だち」と「遊び」に勝る学びなし　得られる喜び　無限大
13　野や山を　走り回れ子どもたち　新たな出合いが待っている
14　そとあそび　ともだち　みんなでおにごっこ
15　育てよう学びの心　広げよう学びの場
16　楽しみは、やってみせ、させてみせ、体験一番
17　自分からすすんで参加ボランティア
18　小さなことでもほめられるって　うれしいな
19　スポーツで　体も心も鍛えよう
20　いそがしい母の手伝いがんばろう
21　仕事は最後までやりとげよう
22　さあやろう！私も家族の一員だ

その３　夢への一歩　家族の力

1　将来は　笑顔あふれる　お茶の間に
2　お茶の間は、子どもの将来にいい影響を
3　夢がある。　夢があるから　頑張れる
4　夢がある　みんなが支えて　夢を追う
5　子どもらに　夢を持たせよ　大人たち
6　私に夢　持たせてくれた家族たち
7　夢は必ず叶う訳じゃないけれど　追わない限りは夢は夢
8　夢に向かって努力する　その姿こそが美しい
9　きみがいま　こうなりたいと　思うこと　かなえられるのは　あなたしだい
10　僕のゆめ　みんなに伝えて広めたい
11　みんな笑顔で　過ごしたい
12　がんばるよ、なんでもするよ　人のため
13　聞こう　子どものゆめ　話そう　親の夢
14　好きなことはつづけよう　継続は力
15　親の考えを押し付けない
16　誉めて伸ばそうやる気と意欲

その４　テレビオフ　会話はオンで　一家だんらん

1　「うるさーい！」と言える毎日の幸せ
2　車の中は我が家のライブハウス♡
3　とにかくわらえる家族
4　やっぱり最後は家族だね
5　気がつけば　同じポーズだ　親子だな
6　夕食は　会話がはずむ　え顔いっぱい。
7　バスタイム　家族でゲーム　わいわい楽しい。
8　休日は　家族でいっしょに　バーベキュー
9　10 選を　みんなで集まり　考える
10　ママ聞いて！　僕と私の　ママ争奪戦
11　パパ聞いて！　私とぼくの　パパ争奪戦
12　お茶の間に　みんなで集まり　暖かい
13　家族みんなでご飯食べて話して楽しい。
14　たん生日いわってくれる家族たち
15　おかえりと　げんかん開けたら　お出むかえ
16　ワイワイと、わが家は毎日、お正月
17　お茶の間は、ワハハとひびくえんそう会
18　茶をすすり茶がしかた手にお茶の間ゲーム大会
19　わが家は吉本新喜劇？寒いギャグが飛びかうよ
20　一日一笑い　笑うって幸せだなぁ
21　ケンカをしない
22　みんなでごはん
23　ハグしてじゅう電
24　家族はいつでもおうえんだん
25　うれしいな　家族そろって　いただきます
26　Respetar la hora de estudiar y jugar「遊びの時間は　きちんとしてから　しゅくだいを」
27　兄ちゃんと　歌の話で盛りあがる
28　ガキ使で　おかし片手に　大爆笑
29　憩いの場、ソファーは妹　ぼくは床
30　お茶の間で　笑い絶えない　ひとときだ
31　お茶の間は　笑顔あふれる　良いところ
32　朝家族　そろうひと時うれしいな
33　留守番し　親かえる時むねおどる
34　夕方の　我が家にひびく　笑い声
35　かぞくとね　ドラマを見たよ　おもしろい
36　ひさしぶり、家族でかいしょく　楽しいな。
37　リビングは、みんなくつろぐ　いい場所だ
38　金よう日　次の日家族そろいます
39　休みの日　家族の笑顔たえないよ
40　朝おきて　家族おはよう　力でる
41　帰り道　犬の鳴き声　うちの犬
42　けんかして　すぐなかなおり　なかよしだ
43　うれしいな　かぞくみんなで　おでかけだ
44　たのしみは　みんなであそぶ　たのしいよ
45　休日　家族みんなで映画見る
46　家族との　ためくらしたいと　いいです。
47　お茶の間でみんなで笑う家族かな
48　休日に家族みんなでパーティ

49　お茶の間は　笑いの時間　楽しいよ
50　お茶の間は　家族と楽しい　時間だよ
51　家族との　楽しい時間　話の時間
52　家族での　会話の時間　夕食の時
53　家族では　家族の時間　大切に。
54　家族との　楽しい時間　増やしたい。
55　家族での　ルールやマナーを　決めたいな。
56　家族との　会話でたくさん　うれしいな。
57　家族での　笑顔をたくさん　増やしたい。
58　お茶の間で　その日の出来事　家族で話す
59　夜ご飯　感想言い合い　楽しく過ごす
60　これがいい　おかずのとりあい　にぎやかだ
61　休みの日　家族みんなで　出かけたい。
62　晩飯を　家族みんなで食べに行く。
63　休みの日　家族みんなで　映画見たい。
64　たのしみは　家族みんなで　夜ご飯
65　休日は　家族みんなでかけるとき
66　明るくて　いつでも楽しい　家族かな
67　家族との　野球かんせん　たのしいな
68　休みの日　家族みんなで　食べに行く。
69　晩ご飯　家族そろって食べたいな
70　休みの日　家族そろって　出かけたい
71　サッカーを　家族みんなで　遊びたい
72　晩ご飯　みんなで食べると　おいしいな
73　お茶の間は　笑いのたえない　明るい家
74　信らいを　し合っていける　支えあい
75　ゆったりと　居間でくつろぎしゃべり合う
76　お茶の間は　家族みんなで　よるごはん
77　休日に　家族でざつだん　犬のさんぽ
78　家族での　おかいものはね　たのしいな
79　休日は　家族で外食　おいしいな
80　お茶の間は　家族みんなで　ほっこりと
81　お茶の間は　家族みんなで　笑い合う
82　家のネコ　いとこの赤ちゃん　こわがるよ
83　やすみの日　おでかけするの　楽しいな
84　お茶の間は　家族のことを　おしえる会
85　お茶の間は　りそうの家族を　おしえ合う
86　家族はね　私にとっては　宝物
87　お母さんは　笑顔の太陽　私にとって
88　お出かけを　夏に家族と　笑って行く
89　夕ごはん　しゃべりながら　食べている
90　かぞくは、たのしくわらって、すごしてる
91　家族はな　ぼくにとっては　大切だ
92　ごはんはね　家族みんなで　食べるべき
93　出かけよう　家族みんなで　楽しもう
94　お母さん　一番好きだなんちゃって
95　家族はね　きょうりょくしあう　ことなんだ
96　お茶の間で、家族みんなが　わらいあう
97　お茶の間は、みんながほっこりできる時
98　ごはんをね　いっしょにたべて　話し合い
99　買い物を　いっしょに行って　楽しいな
100　しゅくだいを　いっしょにやって　がんばろう
101　おやつをね　いっしょに食べて　おいしいな

102　かぞくはね　ぼくにとっては　最高だ
103　お茶の間は　家族みんなで　回転ずし
104　お茶の間は家族みんなで外食
105　休日におばあちゃんち楽しいな
106　休みの日に　家族みんなで　おかいもの
107　日よう日　家族みんなで　図書館へ
108　楽しいな　家族みんなで　外出だ
109　夜では　家族みんなで　話すとき
110　夜ご飯　おいしい物を食べ　話すとき
111　夜ごはん　みんなで食べたら　おいしいな
112　食事後に　家族でテレビ　うれしいな
113　ひまな時　兄とあそんで　たのしいな
114　お茶の間は　えがおあふれる　かぞくたち
115　お茶の間は　かぞくみんなで　おはなしだ
116　家ではね、かぞくみんなで　わらいあう
117　家ではね、みんなが笑顔　うれしいな
118　「ただいま！」家に帰ると　ホッとする
119　あかるい、やさしい、がつまったわたしんち
120　毎日、なかよし楽しい姉妹
121　お茶の間は　家族だけのレストラン
122　お茶の間は　自然にみんながあつまる場所
123　弟は　かぞくで一番おもしろい
124　わはははは　いつも楽しい　ばんごはん
125　お茶の間で　クイズ番組家族で参加
126　お茶の間で　私もスマホも　充電中
127　自分の部屋より勉強はかどる　お茶の間机
128　テレビを消して、楽しいおしゃべり
129　忙しい毎日、お茶の間は、ゆったりと
130　お茶の間で、心の健康、保ち合う
131　お茶の間は　皆の笑顔を、見せる場所
132　お茶の間で、会話が増える、うれしいね
133　お茶の間の、会議も大事よ、お父さん
134　お茶の間は　気持ち吐き出す　秘密基地
135　お茶の間は　明日の為の　給油所
136　週に１どは、家ぞくでティータイム
137　家族でね、楽しかったよ、夏休み
138　この家は　家族の思い出　満タンだ
139　休みの日かぞくたいこうトランプせん
140　お茶の間は　今日あったことの　反省会
141　夕食は　みんなそろって　美味しいな
142　お茶の間は　一日の出来事を話し合える輪
143　お茶の間は　笑顔あふれる　良い所
144　いっしょにごはんをたべます。
145　笑いあい家族で囲もう朝ごはん
146　家族　みんなで暮らせる
147　たまに　家族　みんなで　おでかけする
148　家族　みんなで　ごはんを食べる
149　わが家は吉本新喜劇？サブイギャグがとびかうよ
150　毎日の変らない日常が　ほんとの幸せ
151　夕食は　今日の出来事　発表会
152　話し合い　カラカラな心に　うるおいを

153　就寝前　悩みを聞いて　皆快眠♪
154　リビングは　笑顔がたえぬ　楽空間！
155　親の声　子供の背を押す　魔法かな
156　かぞくから　えがおもらえる　おちゃのまで
157　ないてもおこってもさいごにわらえる　かぞく
158　かぞくで食べるごはんがおいしい
159　寝る直前　パパがご帰宅　子ら覚醒
160　遊んでと　せがまれるのも　あと数年
161　誕生日　毎日祝おうみんなでね
162　いつまでも　子供達との会話　大切にしたい
163　いくつになってもお父さんお母さんが大好きな子供達でいてほしい
164　笑顔の絶えない　晩御飯
165　みんなでごはん　みんなで「おいしい」
166　宿題は、一緒に考えて　頭の体操
167　耳掃除　おやすみ前の　お楽しみ
168　けんかしても　いつのまにか　なかなおり
169　朝ご飯　一緒に食べると　おいしいね
170　ただいまの　声に心が踊り出す
171　話をきいて！おしゃべり合戦
172　リビングに　可愛い足音　こだまする
173　「ごはんだよ！」みんな笑顔の合言葉
174　食卓は　溢れる笑顔の　宝箱だ
175　朝ごはん　わが子の笑顔が　調味料
176　お茶の間は　皆が笑顔で　くつろぐお城
177　お茶の間は　色とりどりのお花が　ひょっこりはん
178　お茶の間は　家族皆で　笑顔の場
179　朝起きて　お茶の間行けば　みんないる
180　お茶の間で　笑いが飛びかう　オヤジギャグ
181　寝返りで　夜中にたたかれ　病院送り
182　ごはんのときは　わきあいあい
183　夕方は　家族みんなで　仲良く散歩
184　ワイワイ　ジャブジャブ　みんなで　お風呂
185　自分がされて嬉しいことを人にもする
186　食事時　注ぐビールを　孫の争奪戦
187　このごろは　前歩く孫に　バア～バ　ついて行けず
188　お茶の間は　こどもの遊び場　おとなの呑み場
189　お茶の間に　こどもあらわれ　おもちゃのま
190　二世帯を　二人の孫が　つないでる
191　お茶の間は　末っ子娘のトークショー
192　１日の報告　ニコニコ笑顔　夕ご飯。
193　給食時間内に食べれたか？の発表
194　家族でのダンスバトル
195　おいしいな！家族で囲む　食卓は
196　憩いの場　家族みんなで　ジブリ観る
197　お茶の間は　母の疲れを癒す　憩いの場
198　お茶の間は　母の取り合い　バトルの場

199　お茶の間に全員集合！トークとテレビと兄弟げんか
200　お茶の間で　君が先生　学んだ事を教えてね
201　サザエさん　みんな笑顔になる時間
202　朝一番　笑顔発進　家庭から
203　週末は　家族そろって　晩ごはん
204　孫相手　年を忘れてボールけり
205　笑顔の家族
206　めりはりのある仲いい家族
207　笑顔のあふれる家族
208　元気で、なんでも言いあえる家族
209　たのしいかぞく
210　家族集まる憩いの場。
211　皆が笑顔になる家族
212　何でも話せる家族
213　楽しい家族
214　仲のいい家族
215　いつまでも　笑顔の絶えない　私たち
216　何気ない　話がいつも　幸せさ
217　家族とは　笑顔と会話　助け合い
218　笑顔あふれる家族
219　楽しい家族
220　元気な家族
221　仲の良い家族
222　食卓に広がる笑顔美しい
223　笑顔があふれる家族
224　明るく楽しい家族生活
225　父と母と仲良くくらせる
226　カイロより　温かいのは　母の優しさ
227　笑顔が多い　普通の家族
228　帰ってきたら温かい食がある仲の良い家族
229　サザエさんのような家族
230　居心地の良い家族になろう
231　笑顔がピカピカ
232　何でも話せて仲の良い家族
233　信じあっている家族
234　助け合って支え合っている家族
235　思いを伝い合える家族
236　笑顔のたえない　my family！
237　家族との話し合い　大切に
238　smile memory
239　夕食は家族集まる唯一の楽しみな時間
240　家に帰ると、家族の笑顔が待っている。
241　弟はいつも取り合うお菓子たち
242　支え合い　笑顔を大切に
243　けんかしてもいつの間にかいつも通り
244　朝起きて　笑って１日　がんばろう
245　悩みごと　きいてあげると　出る緑茶
246　けんかをしても明日には仲直り
247　お父さん　子供に呼ばれ　ニヤケてる
248　一番おちつけるところは我が家
249　家族での　明るい雑談　草はえる
250　一人が笑えば、家族みんなが幸せになれる
251　家がいちばんおちつく
252　薬物乱用は、ダメヨダメダメ　ひとひとり
253　療しの場が　リビングだといいな
254　気軽に話せる夕飯時
255　小さな変化すぐ見抜く
256　お茶の間に　人数多いと　笑いも大
257　親と子の　心も深まる　いい場所だ
258　家族のみんなの笑顔が　元気の源
259　笑いあふれる家

260　安心できる温かい家
261　みんな仲良い、にぎやか家族
262　元気になれる、家族の笑顔
263　みんなで一緒に夜ごはん
264　集まって食べよう　食事の時間
265　家族みんなで食べるご飯は何よりも美味しい
266　寝るときは　家族並んで　川の字寝
267　じーちゃん家　嬉しい楽しい　大好き
268　いつまでも　元気で楽しく
269　笑顔がたえない、お茶の間
270　夜ご飯　みんなで一緒にいただきます
271　毎月たのしい家庭
272　家族みんなで食べるご飯
273　家は話のパスをつなぐフィールド
274　みんなの笑顔が見える家庭
275　家にいて　たまに始まる　ゲーム大会
276　お茶の間は　家族が集まる　唯一の場所
277　みんなで集まり　ごはんを食べよう
278　みんなが　しあわせな家族
279　みんな笑顔で落ち着く場所に
280　お茶の間で笑顔あふれるいい家庭
281　皆で楽べると心がはずみ元気いっぱい
282　1 日を楽しく語る家族の笑顔
283　お茶の間で　ホッとひといき　ニッコリえがお
284　家族が集まる笑顔のお茶の間
285　笑顔があふれる家族の広場
286　家族みんなが笑い合えるお茶の間に
287　家族の笑顔が食卓を照らす
288　お茶の間で　おどろくできごと母おどろき
289　家族の会話が明日の元気
290　子どもの笑顔は親のエネルギー
291　1 日でみんなが集う笑顔の場
292　お茶の間は　家族みんなで　過ごす場所
293　家に帰る理由は家族
294　日常茶飯事　おもしろすぎて　泣き笑い
295　皆が憧れる“家庭”は大きな闇をもはらう光をもつ
296　笑顔あふれる　子どもと夫婦
297　家族の笑顔があつまる場所
298 家族がそろう毎日が心の大きな支え
299　家族と作る　笑いと笑顔の輪
300　お茶の間は　家族と話す　場所なんだ
301　夕食を　食べながら話す　今日のこと
302　笑顔はみんなの元気の源
303　1 日の笑顔、家族が集まると、もっと大きな笑顔に。
304　お茶の間で　みんなで食べよう　柿のタネ
305　みんなの笑顔は私のパワー
306　嬉しさ拡散　悲しさ分散
307　家族と一緒に楽しく過ごす everyday
308　家族の笑顔が私の源
309　お茶の間で　みんなで食べよう　焼き肉を
310　お茶の間は皆が集まる家族の場
311　家族との時間　どんな時間より　素でいれる

312　いつまでも　心も体も　支え合う
313　言いすぎず　しっかり言える　関係性
314　家に入ると感じる温かい
315　リビングは　１日のトークショウ
316　１日の始りと終りは家
317　お茶の間は　きれいにしようよ　おばあちゃん
318　目と目が合ったらすぐ会話！
319　今日もみんなでいただきます
320　家族で笑いあえる家庭
321　つらいとき　何でも話せる　家庭にしたい
322　ごはんは　みんなで食べる
323　夕食は　今日あったことの　発表会
324 家族の輪　乱れ壊れてまた戻る
325　悲しめど　常に誰かの助けあり
326　家庭内の愛情が、心の優しさを作り出す
327　朝ご飯　家族みんなで　いただきます
328　ケンカせず　みんななかよく　くらしたい
329　隠し事がない家庭
330　笑顔咲く　食卓の場は　楽しいな
331　卵焼き　おふくろの味　美味しいな
332　親が笑えば　子も笑う
333　幸せいっぱい　笑顔もいっぱい
334　笑顔が　家族のエネルギー
335　お茶の間に　皆集まり　趣味をする
336　茶の間でふざけるのが日課
337　子どもの笑顔と元気が、親の生きるエネルギー
338　子どもの笑顔と元気が、家族の生きるエネルギー
339　あたたかい飯、あたたかい家庭
340　帰りたい、我が家
341　早くお家に帰りたい
342　言いたいことが言える家族
343　強い絆で結ばれている
344　やっぱり家が一番落ち着く
345　帰りたいと思える大切な我が家
346　思い出がいっぱいつまった子供部屋
347　どこよりも安心できる家族の居場所
348　話したいことがある家族
349　調べといて　めんどくさいなぁ　はいどうぞ
350　食卓は　今日あったことの　発表会
351　笑顔あふれる家族生活
352　みんな仲良しコミュニケーションのとれる家
353　楽しくありのままの家庭
354　笑顔が絶えず楽しく優しい家庭
355　みんなでいっしょに笑い合える家庭
356　子供の笑顔、元気は大人のいやし
357　子供の存在　私にとって　太陽
358　家族になろうよ
359　家族の笑顔は温かい
360　協力し合う家庭
361　つなぐ笑顔
362　みんなで食べるごはんはおいしい
363　理解のある家庭
364　大失態　帰たく早々即相談
365　楽しい家庭
366　幸せの家庭
367　心許す家庭
368　落ち込んで　泣きそうな時も　支えたい

369　帰りたい　家族に早く　会いたいよ～
370　干渉しすぎず、しなさすぎず
371　安心できる　そんな場所を　子ども達へ
372　子どもの笑顔で家庭が明るくなる家庭
373　親が本気で怒るときは子どものため
374　子どもが元気な家庭
375　皆が笑えて　子供がすくすく育てる場所
376　家族は助け合いが必要だ
377　家族そろって食べるご飯は幸せの味がする
378　子どもの笑顔を守る家庭
379　子どもも大人も楽しく暮らせる
380　帰りたいと思える家族・家庭
381　夕飯は家族みんなで食べる
382　なんでも言えるいやしの場
383　明るく笑いのたえない家庭
384　家族みんなで支え合う
385　子どもが笑っている家庭
386　毎日笑顔でいてほしい！
387　夜ごはん　みんなで食べると楽しいな
388　家族という存在はとても大事な宝物
389　明るい普通の家庭、好きなことができる
390　家族の笑顔は私の元気のもと
391　悩みごと　かくさなくていいよ　家族だから
392　帰ったら　温かいご飯と　その笑顔
393　小さい妹とみる教育アニメ　大きい弟とみる深夜アニメ
394　笑顔と元気があふれるお茶の間
395　明るく、素直に、前向きな家庭に
396　親は子どもの相談所でありたい。
397　明るく、楽しい、笑顔の輪
398　笑顔あふれる場所が帰るところ
399　家族全員で　食卓かこめば　おいしいね。
400　笑顔あふれる、楽しい家族
401　普通の暮らしが１番幸せ
402　落ち着ける場所が大好きな家族のいる家
403　帰宅して安心できる家族の笑い声
404　家族の時間が１番の宝物
405　笑顔あふれる家族の輪
406　Heart to live for
407　Smile in the house
408　あたたかいご飯をみんなで食べよう
409　あいさつは　かぞくをつなぐ　あいことば
410　明るく楽しい平和な暮らし
411　気楽で、ありのままな自分
412　心と体がおちつく場所
413　１番うるさくてあったかいところ
414　お茶の間は、家族の癒し、憩いの場
415　笑顔があふれる　お茶の間
416　みんなでいっしょに夜ご飯
417　１番落ち着く場所が自分の家でありたい
418　何でも言い合えるそんな家族がいい
419　温かい家　みんながあつまる家
420　家は心が休まる場所
421　幸せあふれる笑顔絶えない家族
422　家族はね　どんなときでも　味方なの

423　どんな時でも　帰ってくる場所
424　家族のみんなが成長する場所
425　笑顔のたえない明るい家族
426　何気ない会話で笑顔が生まれる家庭
427　ママ　大好き！
428　最も愛し、愛されたい
429　茶の間で集まることで知識が増える
430　笑顔の輪を家族で広げよう
431　家族との時間を大切にしよう
432　いつも幸せでいられる場所
433　笑顔でいっぱい　家族ですごす　楽しい時間
434　お茶の間は　笑顔の花咲く　花園だ
435　家族との会話は平和のあかし
436　笑顔ある素敵な家庭築きたい
437　家族で食べるごはんはおいしいな
438　帰宅中　頭によぎる家族の顔
439　家族の思い出は心がどんどん温まる
440　これまでもこれからも、解れることのない絆
441　幸せはいつもあるお茶の間に
442　お茶の間は幸せが増える空間だ
443　家族の笑顔は私の居場所
444　家族の和みは笑顔から
445　元気の源は家族の幸せ
446　家族が笑えば幸せな１日が始まる
447　お茶の間に咲く笑顔の花
448　皆で食卓を囲んで食べるメシ
449　手をつないで一生
450　家族のインコは環の中心
451　愛犬の元気な姿が疲れを癒す
452　笑顔は、親と子供の愛の結晶
453　家族の幸せが私の幸せ
454　なにかあっても一緒にいるよ
455　一人立ち、寂しい時にお茶飲むと家族を思い出す
456　帰りたい　帰りたい　あったかい家庭がまっている
457　家族全員集まれば、あふれる元気笑顔
458　１日どこかで家族と話せる時間を
459　家族が私の生きがい
460　家族とは一蓮托生の存在だ
461　家族みんなで明るく過ごす
462　あたりまえのことがあたりまえに出来る関係
463　お互いの悩みや喜びを分かちあって共に生きていく
464　もたれかかるのではなく　支え合う
465　家族の笑顔が毎日の幸せ
466　笑顔ある家庭で話し合える幸せ
467　朝・昼・晩　家族と食べるとよりおいしい
468　親の声子どもの背を押す魔法かな
469　家族はいつでもおうえんだん
470　悩み事隠さないでいいよ家族だから
471　会話のごちそうは困難を乗り越える糧に

その５　つくって守ろう　家族のきまり

1　あいさつや言葉づかいはきちんとできると良い
2　Ayudar en los deberes en la casa「お手伝いは　ちゃんとすること」
3　家族でくつろいでいる食事中などにＴＶを消して　会話をする。
4　テレビみて　いっしょに笑う　たのしいな
5　いそがしい　母の手伝いがんばろう
6　ご飯後に、手つだいをして　風呂入る
7　てつだいあえるそんな家族
8　夕食は　テレビ消して　みんな笑顔
9　家族で過ごす時は　スマホの休み時間
10　手をあわせ　顔を見合わせて　いただきます。
11　帰ったら　急いでやるぞ　手伝いを
12　常識は家族から。
13　約束を　守る心が清々しい
14　約束は　みんなが決めて　守るもの
15　友と交わした指きりげんまん　未来の希望をキャッチする
16　約束を破った苦しみ思いやる
17　ごはんどき　テレビを消して　いただきます
18　両親が　見本になろうわが子のために
19　大人がね　動けば　自然と子も動く
20　きみとはなした　思い出を　いつまでも　忘れない
21　スマホより　家族の時間　大切に
22　テレビより　家族のだんらん　一番に
23　やってみよう　自分の仕事は　家族の手助け
24　もう一度　感謝の気持ち　伝えよう
25　もめごとも　まあるくおさまる「ごめん」の力
26　もめごとも　ひとこと「ごめん」で全てOK
27　便利な携帯危険が潜む
28　行ってきます今日も元気にハイタッチ
29　ケータイを　いじってないで　おはなししよう

その６　本開く　こころを紡ぐ　この出会い

1　よみきかせ　今日は何を読んでほしい？
2　寝る前に　毎日一冊　読み聞かせ
3　おやすみ前のどくしょ会
4　本は人類の知恵の蓄積です
5　本を読む　心と心の対話です
6　一日に　どこかで毎日　手に本を　未だ見ぬ世界が拡がるよ
7　行ったことない新たな世界へ　本があなたを誘います。
8　旅に出よう　本とお菓子をポケットに
9　とりあえず　１日10分読書しよう

10　本を読み　広がる会話　家族の輪
11　減るページ　君の心に増える思い
12　本読んでいいこと　みんなに　伝えよう
13　本は知識の宝庫　毎日読書
14　家読の時間は我が家の小さな自慢
15　時には語り会おう　読書から得た知識と感動
16　家族一緒に“家読”タイム
17　スイッチオフで皆読書

その７　しっかり食べて　つくろうカラダ

1　うれしいな　おいしいごはん　おなかいっぱい
2　Tener una buena alimentacion「食事では　好き嫌いなく食べること」
3　コーンスープ　あさからのんで　ほっとする。
4　いつもより　たのしくすごす　おひるごはん
5　おいしいな　テレビ見ながら　タはんだ
6　おいしいな　家族みんなで　タご飯
7　おみそしる　ママのはぜったい　おいしいよ
8　僕が大きくなったら　ごはん作りたいな
9　みんなで（家族４人）ごはん作りたいな
10　あったかい　ごはんがまってる　わたしのいえ
11　タ食のにおいがしたう集合だ
12　お母さん　ご飯のレパートリーが増えるといいな
13　お母さん　それでもご飯はおいしいです
14　１人で食べるごはんは普通においしい
15　家族が作った食事は、家族を温める
16　スマホアラームより家族の声で起きる
17　おいしいご飯が私の幸せ
18　家食はカラダの栄養　家族とのふれあいは心の栄養
19　しっかり食べよう朝ごはん　元気の源は朝ごはんから
20　何でも食べて元気な体
21　一食に　黄赤緑の　栄養素そろえよう
22　好き嫌いは　人間関係の狭さに
23　作り手の　想いを食べる　お弁当

その８　家族でつくろう　ハッピーリズム

1　佐久間家の　朝いつも６時起、二度しておこられる
2　おねむ中　弟がほぼ毎日おれのふとんけとばす
3　休日で　ゆっくりねてても　おこされぐだぐだ
4　休みの日　家族いっしょに　ぐうたらだ
5　ママいつも　よるになると　ゴロゴロする
6　休みの日、だらだらせずに、外であそぶ
7　ご飯食べ、ごろごろしながら　テレビ見る
8　タがたは　おかしを食べて　ゲームをする

9　早寝　早起き　朝ごはん　みんな元気
10　朝食の匂いがみんなのアラーム
11　トントンと　まな板の音で　起きる朝
12　日曜に　日が沈んでいる時にお茶を飲み、1日を振り返る
13　朝一番　朝日をみてたそがれよう
14　家族でつくろう生活リズム　笑いと幸せ奏でます
15　明日からは　カントの生活　見習おう
16　哲学者カントの生活見習おう　健康長寿の秘訣あり
17　運動と　睡眠を　たっぷりとって元気いっぱい
18　まいにちを　たいせつにしよう　運動（スポーツ、読書）
19　朝日あび　今日の元気を　チャージする
20　朝昼晩　よく食べよくかみよく笑い
21　なにげない　朝の一言　感謝の気持ち
22　おはようが　朝一番の心の朝ごはん
23　早寝　早起き　元気に学ぶ
24　ほどよく叱って　たくさんほめる　しつけの極意
25　がんばって　ほめられて　またがんばる子が好き
26　がまんも大事　ストレス発散も大事
27　早寝早起き豊かなくらし
28　早寝早起き朝ごはん朝うんち　みんな元気

その９　支えあう家族　尊い家族

1　お茶の間で　見せたサイン、見つけてね
2　無事ねがう　行ってきます　と孫の声
3　家族の健康が自分の幸せ
4　何があっても生きて帰る！
5　みつけよう　私の中のやさしい気持ち
6　みのがさないで　悩みのサイン　聞いてあげよう　心の叫び
7　人を大切にする心は自分を大切にする
8　毎日の　キミの笑顔で　生きている

その 10　お茶の間で　伝えよう　感謝の気持ち

1　Respetar a los padres「親を大切にしよう」
2　Respetar a sus mayores「年上の人をうやまおう」
3　父母に　毎日感謝し　過ごすこと
4　お茶の間は　しっかり感謝　いえる家庭
5　お母さん　手づくりご飯　ありがとう
6　今日という日の　感謝の時間
7　ありがとうに年れいせいげんなし
8　せんぷうき　涼しい風を　ありがとう

9　溢れ出る　言葉は嬉しい　ごちそうだ
10　父への感謝を忘れない
11　お弁当　つくってくれて　ありがとう。
12　おかあさんいつもおそうじありがとう
13　おかあさんいつもごはんをありがとう
14　おかあさんいつも洗濯ありがとう
15　ありがとう　感謝の気持ち　伝えよう
16　家族のみんなに毎日感謝の言葉を
17　ありがとうが言い合える家族
18　毎日あたたかい愛情ありがとう
19　お母さん　そしていつもありがとう
20　毎日おいしいごはんをありがとう
21　毎日送り迎えをありがとう
22　毎日ごはんをありがとう
23　「ありがとう」　言えたときは　いい気分
24　「ありがとう」　言えた時の　爽快感
25　「ありがとう」言われた時もいい気分〃
26　ものを買う、与える前によく考えて
27　買う、与える前によく考えて
28　人に親切やさしい心

その他

1　“まあいっか”が我が家の合言葉♡
2　お茶の間が　ピンとこないか　平成っ子。
3　勉強もいいけど　笑うのもいいね
4　青空を　どんよりすすむ　白い雲
5　雨ふって　かさをさしたら　雨やんだ
6　ゲームして　テレビがん見　ハイそく死
7　あめあがり　窓外みれば　虹の橋
8　台風よくるなみんながいのってる
9　休日は　おやつ片手にゲームする。
10 たのしみな　花火大会　ひかるとき
11 よるになる　星がみえるよ　きれいだな
12 たのしみだ　もうちょっとで　中学校
13 もうすこし　みんなとお別れ　かなしいな。
14 かめやまは、たのしいことが　ありすぎだ。
15 社会のとき　みんなつかれて　ねてしまう
16 修学旅行で　親友と同じ班で　ないことだ
17 算数のとき　頭の計算むりな　かんじする
18 チョコミント　もうー度だけで　食べたいな
19 お風呂時間　メガネをとって　こわくなる
20 雨あがり　しずくが光り　にじがでる
21 休日は　イオンモールで　お買いもの
22 こくばんなくてもまなべるおうち
23 いつもにこにこおかあさん
24 ニュース・新聞・時代の共有
25 整頓された　アロマの香り漂う　お茶の間
26 かんべんして～　どこで覚えた　その言葉
27 高いけど　笑顔みたさに　またおもちゃ

28 将来は　売れっ子アイドル　親孝行
29 来るたびに　孫の成長感じる　言葉としぐさ
30 言葉の語尾に必ず「わっしょい」をつける
31 レジ打ちは　家の娘も得意です
32 ちゃんとお父さんとお母さんがいる家族
33 近所の繋がりを大切にしよう
34 きちょうなじかん
35 どんなときでも　ルンルンな　お母さん
36 お母さん　何もしないお父さんにブチ切れる
37 弟は姉の私よりしっかりしている
38 小さくても大きく見えた父の背中
39 自分と　齢を重ねて行く　我が家
40 亀山の　地域がすべて家族である
41 お茶の間で凍りつくことありません
42 頑張って　しりにしかれる　お父さん
43 今月も　さいふがピンチ　あと十日
44 ヘルプミー　提出物が間に合わない
45 やらなきゃな　わかってるけど　めんどくさい
46 互いの価値感を尊重する家庭
47 色々な事を学ぶホーム
48 飼ってるインコの前で焼き鳥食べよう
49 泳いでる金魚みてたら「おいしそう」
50 今日も１日、がんばるぞい！
51 決闘者はデュエルで語れ！
52 今の家庭に足りないもの！それは、情熱、思想、理念、頭脳、気品、優雅さ、勤勉さ！そして何よりもぉ！絆が足りない
53 金がない、なので家庭が作れない
54 子供を産むだけでも多額の金がいる
55 いつまでもイチャイチャできる家庭
56 ぼっちでも１日１日頑張るぞい！
57 俺の嫁、いつまで経っても画面内
58 コの時代　程遠いのか我が家庭
59 テレビは皆が共有できる家庭
60 子どもの涙は親の恥
61 白米食べたら白くなれるかな
62 茶の間と言いつつリビングしかない
63 大乱闘　参加者三人　お茶の間杯
64 リビングでテレビ見ながら晩ご飯
65 いやしがある家
66 災害に強い家
67 理想の家族は次元の先に
68 家庭崩壊　とまるんじゃねえぞ
69 俺のヨメ　画面の奥から　でてこない
70 俺の嫁　あれ奥行きが見あたらず
71 冬の寒さに負けない暖かい家族
72 海の見えるキレイな家での生活
73 なにもおこらない家の中
74 大きな家でのびのびと生活できる場所
75 お笑い番組を見て笑いすぎてあごがはずれるくらいの家庭
76 豪庭
77 秘密基地がある家庭
78 きれいな家に住みたいな
79 自分のやりたいことができる家庭
80 通知表　上からみるか下からみるか
81 子もりのアニメにはまる高校生の俺

82 平和に暮らせればそれで良いじゃない
83 自分達のやりたいことが自由にできる空間
84 子供は親のかがみ
85 ふつーがいちばん
86 血がつながっていなくても家族は家族
87 ずっとこのままねていたい
88 あれ　私ごはんたべたかしら・・？
89 強い大黒柱で家庭を守る！
90 家の扉を開けるとそこに広がる暖かい空間
91 一緒に好きなことして生きていく
92 なつかしい、自宅のような安心感

７　かめやまお茶の間 10 選（実践）策定経緯

1）平成 30 年度　第１回社会教育委員会議
日時　平成 30 年７月 12 日（木）14：30～
会場　亀山市役所西庁舎 ３階　第５会議室
出席者　委員７名、事務局６名（教育長他）
内容
①家庭教育力の向上のための取組について（協議事項）
②養育力を高める家庭教育支援の在り方について（協議事項）

2）平成 30 年度　第２回社会教育委員会議
日時　平成 30 年８月 31 日（金）10：00～
会場　亀山市役所 ３階 理事者控室
出席者　委員６名、事務局６名（教育長他）
内容
①社会教育委員会提言書（仮称）について（協議事項）

3）平成 30 年度　第３回社会教育委員会議
日時 平成 30 年 12 月 14 日（金）13 時 30 分～
会場　亀山市役所　職員会館２階
出席者　委員６名、事務局６名（教育長他）
内容
①かめやまお茶の間 10 選（実践）（案）について（協議事項）
②「子育て家庭の在り方に対する提言書（仮称）」の構成について（協議事項）
③採用作品の取り扱いについて（協議事項）

4）平成 30 年度　第４回社会教育委員会議
日時　平成 31 年２月 18 日（月）15 時～
会場　亀山市役所　３階　理事者控室
出席者　委員７名、事務局６名（教育長他）
内容
①掛川市視察について（報告事項）
②かめやまお茶の間 10 選（実践）（案）について（協議事項）
③「子育て家庭の在り方に対する提言書（仮称）」の構成について（協議事項）

5）平成 30 年度　第５回社会教育委員会議

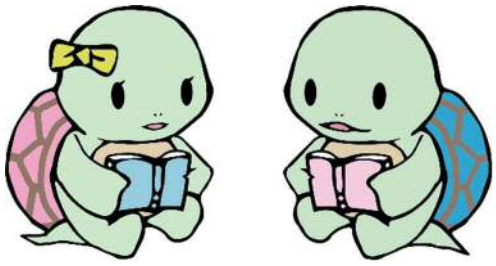
日時　平成 31 年３月 25 日（月）14 時～

会場　亀山市職員会館　2階　会議室

出席者　委員６名、事務局６名（教育長他）

内容

①「子育て家庭の在り方に対する提言書（仮称）」（第一案）について（協議事項）



８　社会教育委員名簿

【任期　平成 29 年４月１日～平成 31 年３月１日
平成 31 年４月１日～令和３年３月 31 日】

NO	役職	名前	区分
１	委員長	森下（もりした）　勇司（ゆうじ）	学識経験のある者
２	・副委員長 （～平成 31 年３月 31 日） ・委員 （平成 31 年４月１日～）	駒田（こまだ）　聡子（あきこ）	学識経験のある者
３	委員 （～平成 31 年４月 10 日）	伊藤（いとう）　淳彦（あつひこ）	社会教育の関係者
４	・委員 （～平成 31 年３月 31 日） ・副委員長 （平成 31 年４月１日～）	河原（かわはら）　孝（たかし）	学識経験のある者
５	委員	安藤（あんどう）　佑子（ゆうこ）	家庭教育の向上に資する活動を行う者 ～平成 31 年３月 31 日
５	委員	松井（まつい）　美樹（みき）	社会教育の関係者 平成 31 年４月１日～
６	委員	豊田（とよだ）　康子（やすこ）	家庭教育の向上に資する活動を行う者
７	委員	伊達（だて）　弘（ひろし）	学校教育の関係者

９　おわりに

ある調査によりますと、放課後に外遊びをしない小学生が７割以上あり、１割以上が遊び仲間が一人もいないという結果が出たそうです。そしてこの結果は、都市部や自然豊かな地域でも同じ傾向があったという事です。

現在、家庭や地域における生活環境が大きく変化する中で、個々を中心とした考え方から人と人との関わりやつながりが薄れ、それらを起因とするいろいろな社会問題も発生している現状があります。そして、そのような状況は、家庭での生活にも大きく影響を与えており、特に子どもたちにとっては、自然とのふれあいや仲間と深くかかわる中で、将来に向けての大切な知識や思いやりのある豊かな心を育むことができる体験や経験をする場が少なくなっています。

この度、亀山市社会教育委員会といたしまして、「家庭は子育ての大切な出発点である」という一つの考え方を念頭におきながら、子どもたちの豊かな未来に向けての一つの指針となればと願いつつ「かめやまお茶の間１０選（実践）」を策定させていただきました。

子どもが犠牲となる事件や事故が相次いでいる昨今、家庭におかれましては、先ずは子どもを危険から守ることを優先せざるを得ないと思います。そしてその上で、現在、お子さんのより良い成長を願い、多くの事に力を注いで取り組まれていることと存じますが、この１０選（実践）もその一つに加えていただければ大変ありがたいと思っています。

その中で、お子さんの実態に合わせながら、改めて子育てを見つめ直す機会として活用していただきながら、お子さんとの関わりをいっそう深め、ゆったりとした気持ちで、この「１０選（実践）」を「てびき」として大いに利用していただければと考えています。

今後、家庭での新しい取り組みの一つひとつが、お子さんの輝かしい未来に向けての力強い一歩となることを心より期待しているところです。

終わりに、この「かめやまお茶の間１０選（実践）」の策定にあたり、亀山市教育委員会教育長をはじめ生涯学習課の方々には絶大なるご支援とご教示をいただきましたことに対し心より感謝申し上げます。同時に、社会教育委員（前述）の仲間のみなさまには、多くの議論の場で貴重なご意見をたくさんいただきましたことに対しまして衷心より厚くお礼申しあげます。

令和元年６月　亀山市社会教育委員会　委員長　森下　勇司

【発行】亀山市教育委員会・亀山市社会教育委員会
【発行日】令和元年６月

（事務局）亀山市教育委員会事務局
生涯学習課社会教育グループ

〒519-0195
亀山市本丸町 577 番地
TEL：0595-84-5057
FAX：0595-82-6161